

進路だより



2022年12月19日(月)
福島県立あさか開成高等学校
進路指導部 第7号

「瀬越(セゴシ)」 進路指導部長より

井原西鶴の浮世草子『日本永代蔵』に「借錢の淵をわたり付けて、幾度か瀬越をしたる人のいへり」という一節がある。その中で「瀬越(セゴシ)」という言葉の意味について触れられている。瀬越とは「重大な時期。困難な時期。危険な時期。また、それを乗り越えること。堪えきること」という意味で、そのような困難な危うい思いをして年の瀬、年末を乗り越えたことが述べられている。

そもそも年の瀬や年末を表す言葉や風物として、以下のようなものがたくさんある

- ・ 師走 …… 陰暦12月の異称。
- ・ 大雪 …… 二十四節気のひとつ。12月7日頃。雪が積もるころ。
- ・ すす払い …… 正月を迎える準備としてすすやほこりを払い清め大掃除をすること。
- ・ 冬至 …… 二十四節気のひとつ。12月22日頃。太陽の中心が冬至点を通過する。
- ・ 冬将軍 ……モスクワに遠征したナポレオンが、冬の寒さと雪が原因で敗れたことから、冬の厳しい寒さをいう語
- ・ しめ飾り ……しめ縄は、神様が降りた神聖な場所を示し、これが張ってあるところには、不浄のものや悪霊は入れないとされている。

普段何気なく使っている言葉の意味を振り返りつつ、新年に思いを馳せる。2022年もコロナ禍によってさまざまな制約があったが、きちんと「瀬越」し皆にとって2023年は良い年であってほしいことを願うばかりだ。

進路内定状況 (12月9日現在)

3年生(25期生)の進路活動もいよいよ大詰めとなりました。今年度の卒業予定者188名中162名の進路先が内定しました(内定率 約86%)。四年制大学についてはすべての生徒が総合型選抜か学校推薦型選抜(公募・指定校)で受験しました。オープンキャンパスへの参加や大学調べを丁寧に行い、各自がそれぞれにマッチした選抜方法を選択し合格を勝ち取りました。評定の高さは勿論のこと、学習以外のことで3年間どう頑張ったか、あさか開成高校生として国際交流活動やボランティア活動、資格取得などを評価していただけたと分析しています。

1月14日(土)・15日(日)には、大学入試センター試験も控えています。冬季課外には休まずに登校し、最後の仕上げをしてください。進路先が内定した人も、進学後の学力を担保するためにも、これから受験を控えている人とともに勉強に力を入れましょう。これからは一般受験の戦いになります。看護系は1月初旬に、大学は1月下旬より一般入試があります。最後まであきらめずに試験勉強に取り組みましょう。

正月の時期は親戚と顔を合わせる機会が増えます。身近な人から仕事の話や、大学等のアドバイスなどをいただく絶好の機会です。話を聞くことと同時に自分で大学や職業について調べましょう。準備は早く始めることが合格への第一歩です。特に大学進学の場合は、大学側が求める人物像に自分が合っているか、志願理由(その学科で何を学びたいか、なぜその大学ではないか)を堂々と説明できるようになることが大事です。

進路内定状況一覧および主な進路内定先については裏面にありますのでご覧ください。

25期生の合格内定者数 (12月9日現在 のべ人数)

	4年制大学		短期大学		専門		就職		合計	卒業 予定
	国公立	私立大	公立	私立	看医	他	民間	公務員		
女子	1	37	4	23	12	50	6	0	133	149
男子	0	15	0	0	3	6	3	2	29	39
合計	1	52	4	23	15	56	9	2	162	188

〈主な進路内定先〉 福島大、足利大、石巻専修大、医療創生大、奥羽大、桜美林大(2)、神奈川大、神田外語大、関東学院大(3)、郡山女子大(4)、神戸学院大、国際医療福祉大(2)、女子栄養大、仙台大(3)、大正大、大東文化大、拓殖大(3)、東北学院大(2)、東北工業大、東北福祉大、東洋学園大、日本大(5)、白鷗大(3)、東日本国際大、ビューティ&ウェルネス専門職大、福島学院大(4)、文教大、宮城学院女子大(3)、目白大、麗澤大、会津短大(2)、米沢女短(2)、上野学園短、郡山女子短(13)、桜の聖母短(4)、仙台青葉短(2)、福島学院短(3)、太田看護専(4)、ポラリス保健看護学院(2)、郡山健康科学(2)、国際情報工科自動車専、埼玉医療福祉専、専門学校医学アカデミー、千葉柏リハビリテーション学院、福島医療専(3)、国際A&D専、国際ビジネス公務員専(6)、仙台ウェディング&ブライダル専(3)、八幡屋、福島芝浦電子、東北村田製作所、自衛隊、ほか多数(詳細は進路室前の掲示板にあります。)

1学年「グローバルセミナー」～海外留学について～

後期中間考査最終日の11月11日(金)3校時のLHRの時間に、1学年対象の「グローバルセミナー」を開催いたしました。講師に一般社団法人台湾留学サポートセンターの鉢呂智子(はちろともこ)先生をお招きして、「グローバル社会において求められる人材とは」・「海外進学という選択肢」というテーマでご講話をいただきました。

講話の中では、現在のグローバル社会においてビジネスチャンスをつかむためには、英語・中国語・プログラミング言語をいかに学び、そして身に付けるかが課題であるということを中心に強調されていました。この3つの言語を学ぶ一つの選択肢として台湾留学の魅力に触れ、台湾の大学を紹介していただきました。

【生徒の感想より】

○ 海外留学について少しは聞いたことありましたが、身近にできる手段を知ることができました。知っていることはどこかで役に立つので大切にしたいです。外国語を学びたいと思っているので積極的に勉強したいです。自分だけの1つの道を歩むことは、いずれ誰かのために役立っているのかなとも感じています。あさか開成でしかできない学びにこれからも積極的に参加して自分の視野を広げていきたい。

○ グローバルセミナーを聞いて、語学力やコミュニケーション能力を身につけてもっと色々な人と関わりを持つことは大事だなと思いました。しっかり進路を考えるようにしたいです。

進路指導部でも、海外の大学への進学をみすえ、『海外大学進学ガイドブック』を購入しました。海外留学に興味を持った生徒は活用してください。

海外大学進学 ガイドブック



進路学習室においてあります。
ぜひ活用してください。